

## 愛媛県加茂川で得られたカワアナゴ

鎗田めぐ<sup>1</sup>・山本貴仁<sup>2</sup>・清水孝昭<sup>3</sup>・山川宇宙<sup>4</sup>

<sup>1</sup>広島大学大学院統合生命科学研究科 <sup>2</sup>西条自然学校

<sup>3</sup>愛媛県農林水産研究所水産研究センター <sup>4</sup>筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻



写真1 *Eleotris oxycephala* カワアナゴ (WMNH-PIS13400)

### 種の記録

Eleotridae カワアナゴ科

*Eleotris oxycephala* Temminck and Schlegel, 1845

カワアナゴ (写真 1)

標本 和歌山県立自然博物館魚類標本 (WMNH-PIS) 13399, 1 個体, 標準体長 43.7 mm, 2022 年 7 月 11 日採集; 13400, 1 個体, 標準体長 130.0 mm, 2022 年 11 月 4 日採集. いずれの採集地点も愛媛県西条市の加茂川(水都橋下流右岸側)である.

### 種の特徴

頭部腹面に白色点が散在すること, 眼下の孔器列が横列であること, これらの横列孔器列は縦列孔器列 A を横断しないこと, 鰓蓋部の上下の孔器列が離れることが, 明仁ほか (2013) および瀬能ほか (2021) のカワアナゴの標徴と一致した.

### 備考

本種は東アジアに分布し, 国内では群馬県および栃木県, 岐阜県, 福島県から鹿児島県の太平洋沿岸, 秋田県から鹿児島県の日本海および東シナ海沿岸, 対馬, 上甕島, 瀬戸内海沿岸, 大隅諸島に自然分布する(明仁ほか, 2013; 倉石, 2014; Yamakawa et al., 2021). 愛媛県では宇和海流入河川で普通にみられ, 瀬戸内海側では, 肱川, 国近川, 重信川, 頓田川, 渦井川で記録されている(清水ほか, 2006; 辻, 2014). 今回採集された標本は加茂川における本種の初記録となる.

### 引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索—全種の同定—, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347–1608, 2109–2211.
- 倉石 信. 2014. 福島県で初確認されたカワアナゴ. AMF NEWS, (57):4.
- 瀬能 宏・鈴木寿之・渋川浩一・矢野維幾. 2021. 新版日本のハゼ. 平凡社, 東京. 588pp.
- 清水孝昭・高橋弘明・渋谷雅紀. 2006. 愛媛県西条市の淡水魚類. 徳島県立博物館研究報告, (16):65–114.
- 辻 幸一. 2014. カワアナゴ. 愛媛県レッドデータブック改訂委員会(編), 愛媛県レッドデータブック 2014—愛媛県の絶滅の恐れのある野生生物—. 愛媛県県民環境部環境局自然保護課, 松山. 124.
- Yamakawa U, Senou H, Tsuda Y. 2021. Northernmost record of *Eleotris oxycephala* (Gobioidei: Eleotridae) based on a juvenile specimen from Akita Prefecture in northern Japan: range extension along the Sea of Japan coastline. Biogeography, 23:6–12.
- (2022 年 12 月 23 日受理, 2022 年 12 月 23 日公開)

連絡先: 鎗田めぐ (e-mail: megyaritafrog@gmail.com)

(Meg Yarita, Takahito Yamamoto, Takaaki Shimizu and Uchu Yamakawa. 2022. Record of the sleeper *Eleotris oxycephala* (Eleotridae) from the Kamo River in Ehime Prefecture, western Japan. NS Fieldnote, 2022)